

- 1 題材名及び活動目標
- 1組 正しいはいぜんと しょくじのマナーについてしろう。  
 学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
 エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
- 2組 かいもののしかたについてかんがえよう。  
 学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
 ア 基本的な生活習慣の形成
- 3組 イベントをかんがえてくれた5年生にかんしゃのきもちをつたえよう。  
 学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画  
 ウ 学校における多様な集団の生活の向上

2 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、学んだことを生かし、実践しようとしている。	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合っで実践している。自分の目標を決定している。	学級生活や日常生活を楽しくするために、基本的な生活習慣や、約束やきまりを守ることの大切さを意識して行動し、生活をよくするための考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

3 主体性の評価基準

主体的に取り組む態度	
A	1組 Bに加えて、配膳の置き方を正しくするとなぜよいのか考えて実践しようとしている。 2組 Bに加えてさらによくするには、どうすればお店の人もお客さんも気持ちよく買い物ができるのかについて考え、実践しようとしている。 3組 Bに加えて、友達の意見と自分の意見を交えて話し合いを進めることができる。
B	1組 事後の給食の時間において、箸の使い方や配膳の仕方について、意識することができる。 2組 買い物のマナーについて、約束やきまりを守ることの大切さを意識し、目標をきめることができる。 3組 5年生に感謝の気持ちを表すために自分にできることはなにか考え、意見を出すことができる。

C	1組 事後の給食の時間においてマナーを意識できずに給食を食べている。 2組 買い物の目標を決められず、実践しようとしていない。 3組 感謝の気持ちを伝える方法を自ら考えることができず、伝えようとしていない。
---	---

#### 4 題材について

##### (1) 題材設定の理由及び児童の実態、身に付けさせたい力(1組)

本題材では、給食の食べ方やマナーについて基本的なルールを振り返るとともに、自分たちの食べ方を見つめ直し、よりよい食事のマナーのあり方について考え行動ができるようになることをねらいとした。本学年の児童は、給食の係活動も意欲的に取り組んでいる児童も多い。一方で食べ方を見てると箸の持ち方が間違っていたり、食器の置き方を知らなかったりする児童もいる。そこで本題材では、これまでの配膳経験から、正しい位置を知り、並べ替える。決まった位置に配膳する意味について考えたい。また、普段、意識することの少ない箸のマナーについて考えることができるようにすることで、給食を食べるときには正しい箸の持ち方やきれいな食べ方を守ることも大切だということに気付かせたいと考える。

##### (2) 題材設定の理由及び児童の実態、身に付けさせたい力(2組)

本題材では、買い物の仕方について基本的な方法を身に付けるとともに、気持ちよく買い物をするにはどうしたらかよいかについて考え、行動ができるようになることをねらいとした。また本題材は、国語「もののなまえ」と算数「大きいかず」との合科学習でもある。国語では、一つ一つにものの名前があることを知った。上位語(果物)では、お店の人には伝わらないため、下位語(りんごやみかん)で伝えることを理解した。算数では、100までの数における色々な種類のお金があることを理解した。本題材は、国語における「おみせやさんごっこ」と算数における「かいもの」、それに特別活動における「買い物のマナー」を合科した題材となっている。合科にすることで各教科の特性を生かし、より深まりのある学習になると考えた。本学年の児童は、日常生活において、保護者の方と一緒に買い物に行くことはあっても一人や友達のみで買い物に行く経験をしている児童は少ない。そこで本題材では、お店側とお客さん側に分かれて、買い物活動をすることで、どのようなことに気を付けて買物をすればいいのか気付けるようにした。買物をするときにはあいさつをすることや店内でのルールなど気づいたことを「かいものマイもくひょう」を書く活動を行うことで、今後の生活に生かせるようにした。

##### (3) 題材設定の理由及び児童の実態、身に付けさせたい力(3組)

本題材では、話し合い活動の方法を身に付けるとともに、5年生に感謝の気持ちを届けるにはどうしたらよいか考え、行動ができるようになることをねらいとした。本学年の児童は特別活動の時間において話し合い活動の場を設けてきてはいるが、回数が少なく、まだ教師による支援が必要なことも多い。少しずつ児童の力だけで話し合い活動が進められるようにしていく段階でもある。そのため話し合いの流れが分かるようにワークシートなどを活用し、学年が上がったときに、自分たちで話し合い活動の場や学級会ができるようにする土台作りをしていった。また、本学年の児童は4月から学校行事や清掃活動などのあらゆる場面において6年生に手助けしてもらったり、一緒に活動してきたりした。この学習を通して「6年生を送る会」などで、6年生に対しての感謝の思いをもち、何ができるかという意識がもてるようにした。そのために12月に実施した「5年生のふれあいの会」への感謝の気持ちを伝える方法を話し合い、感謝の気持ちを届ける方法を考え行動ができるようにすることで、よりよいものを6年生に届けられるステップアップの場とした。

5 本時のねらい及び展開

(1) 本時のねらい (1組)

- ・配膳の仕方や片付け方を理解することができる。
- ・正しい箸の持ち方やきれいな食べ方を意識しできるようにする。

(2) 展開 (1組)

学習活動と内容	○教師の支援 ◇評価の観点	資料
<p>1 配膳の仕方のよくないところに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このお皿は、こっちだったよ。</li> <li>・きれいに並べていないよ。</li> <li>・お家でも、お茶碗は左側にあるよ。</li> </ul> <p>2 本時の学習のめあてを知る。</p>	<p>○数種類のよくない配膳の仕方を掲示することで、よくないところを気づかせるようにする。</p>	<p>写真、 掲示物</p>
<p>正しいはいぜんとしょくじのマナーには、どのようなものがあるのだろう。</p>		
<p>3 正しい配膳の仕方について知る。正しく配膳する意味を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンやごはんなどの主食の位置は、左側だね。</li> <li>・いつも野菜の入っている小さな皿はいつも遠いところにあるよ。</li> </ul>	<p>○正しい配膳の位置を知り、並べ替える体験をすることで、決まった位置に配膳する意味について考えさせる。</p> <p>○配膳の決まりを守ることで、見た目も美しく食べやすいことに気付かせる。</p>	<p>食器 書画カメラ</p>
<p>4 正しい箸の持ち方について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しく持つのが難しいね。</li> <li>・正しく持った方が、ものがつかみやすいんだ。</li> </ul>	<p>○普段の箸の持ち方と正しい箸の持ち方を比べ、正しい持ち方を意識して持つことができるようにする。</p>	<p>箸 書画カメラ</p>
<p>5 物をつかむ練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じょうずにつまめたかな？</li> <li>・意外と難しいね</li> </ul>	<p>○メラミンスポンジをつまんで、正しい箸の使い方を意識できるようにする。</p>	<p>箸・メラミンスポンジ・食器</p>
<p>6 箸の使い方について気を付けなければいけないマナーを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段やってるかも・・・。</li> <li>・今度から、気を付けたいね。</li> </ul>	<p>○正しくない箸のマナーを掲示や体験をすることで、箸のマナーについて考えることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刺し箸 ・渡し箸 ・立て箸</li> <li>・寄せ箸 ・迷い箸 ・涙箸</li> <li>・振り上げ箸 ・指し箸</li> <li>・叩き箸 ・ほじり箸 ・舐り箸</li> </ul>	<p>イラスト</p>
<p>6 きれいな片付け方について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残飯を器に残さないようにしよう。</li> <li>・音を立てないように片付けよう。</li> </ul>	<p>○「給食室の先生方が片付けしやすくするには、どう片付ければよいか」と問いかけ、きれいな片付けの方法を考えながら片付けられるようにする。</p>	<p>食器</p>

〈 事後の指導 〉

○配膳の仕方、箸の使い方やマナー、片付け方などを給食で実践する。

◇本時で学んだことを生かし、進んで実践しようとしている。(知識・技能)

○本時の学習を振り返り、気を付けたいことをワークシートに書く。

(3) 本時のねらい(2組)

- ・買い物活動を通して、買い物のマナーを見付け、マナーを守って買い物をできるようにする。

6 展開 (2組)

学習活動と内容	○教師の支援 ◇評価の観点	資料
<p>1 アンケート結果を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お家の人と買い物に行ったことがある。</li> <li>。</li> <li>・自分一人で行ったことがある。</li> </ul> <p>2 本時の学習のめあてを知る。</p>	<p>○アンケート結果を提示し、買い物の経験があるか確認する。</p>	<p>Googleフォームアンケート結果</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             かいもののマナーは どのようなものがあるのだろうか。           </div>		
<p>3 買い物のマナーについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計するときは並ぶ。</li> <li>・〇〇をくださいと言う。</li> <li>・走らない。</li> </ul>	<p>○これまでの買い物経験を想起させ、マナーについて考えるようにする。</p>	
<p>4 お店側とお客さん側に分かれて、オクリンクを使って買い物活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店側とお客さん側を交代して行う。</li> </ul>	<p>○お店側とお客さん側のどちらの買い物活動も交代して行うことで、それぞれの立場で、どのようにしてくれたら嬉しいのか、どのようなことはされたら嫌なのかに気付けるようにする。</p>	<p>お金カード ギガタブ</p>
<p>5 どのようなことに気を付けるとみんなが気持ちよく買い物ができるのかグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のお客さんが来たときは、場所を譲ってあげる。</li> <li>・「ありがとう」と言われると嬉しい。</li> <li>・買う物を決めてから言ってくれるとスムーズに買い物ができる。</li> </ul>	<p>○グループで話し合ったことをワークシートに書くようにすることで、友達の見解にも気付き、自分の考えを深められるようにする。</p>	<p>ワークシート</p>
<p>6 グループで考えた買い物のマナーを共有して、まとめをする。</p>	<p>○ワークシートを大型テレビに映し共有しやすくさせる。</p>	<p>大型テレビ</p>
<p>7 本時の学習を振り返り、「かいものマイもくひょう」をJAMボードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お願いします。」「ありがとう。」を言えるようにする。</li> <li>・お店の中で走らない。</li> </ul>	<p>○具体的に目標を書くことが難しい児童には、グループでの話し合いでの友達の見解を参考にしてよいことを伝える。</p> <p>◇話し合ったことを生かして、自分の目標を決定している。</p> <p style="text-align: right;">(思考・判断・表現)</p>	<p>ギガタブ</p>

(3) 本時のねらい(3組)

- ・ 5年生の感謝の気持ちを伝えるにはどうしたらよいか考え、実践することができる。

6 展開 (3組)

学習活動と内容	○教師の支援 ◇評価の観点	資料
<p>1 「5年生とのふれあいの会」で楽しかったことを振り返る。</p> <p>2 振り返ったことから本時の課題を見付ける。</p> <p>3 本時の学習のめあてを知る。</p>	<p>○写真を提示する。児童のギガタブにも写真を共有し、見やすくする。</p> <p>○「何かお礼ができることはないかな?」と問いかけをし、課題をつかみやすくする。</p>	<p>ギガタブ</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">5ねん生にかんしゃの気持ちを伝えるにはなにができるだろうか。</div>		
<p>4 活動内容の条件を掲示する。</p> <p>5 自分の意見を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 劇をする</li> <li>・ お楽しみ会を開く。</li> <li>・ お手紙を書く。</li> </ul> <p>6 全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 劇をする</li> <li>・ お楽しみ会を開く。</li> <li>・ お手紙を書く。</li> </ul>	<p>○活動内容の条件を掲示することで、その条件にあてはまる意見を考えやすくする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">じょうけん</p> <p>①1ねん生ぜんいんができること。</p> <p>②15分いないでできること。</p> </div> <p>○出し合う前に自分の意見を考える場をすることで一人一人が意見をもちやすくする。</p> <p>○意見を考えることができたなら理由も考えるように促す。</p> <p>○教師が板書を行い、話し合いに適時、支援を行っていく。</p> <p>○ワークシートを用いて、意見の出し方を知るようにする。</p>	<p>ギガタブ</p> <p>ワークシート</p>
<p>7 出てきた意見をもとにそれぞれのよさを話し合いまとめていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お手紙はみんなが分担してできる。</li> <li>・ お楽しみ会は誰もが楽しむことができると思う。</li> </ul>	<p>○いろいろな意見を認め合えるような雰囲気を作る。</p> <p>○意見を認めつつまとめていく。</p> <p>○比べた意見を一つにしていけるようにするが、合意形成は難しいので、いくつか意見が分かれてもよいこととする。</p>	<p>ワークシート</p>
<p>8 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見をだすことができた。</li> <li>・ 話し合いができた。</li> </ul>	<p>○本時の学びを生かせるよう、振り返りはワークシートにしっかり残すことを確認する。</p> <p>◇学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。(思考・判断・表現)</p>	<p>ワークシート</p>

## 8 研究の視点

### 研究主題

主体的・対話的で深い学びを通して、  
自ら考え、行動できる力を身に付けた児童の育成

### 視点1 自ら考え、行動できる力を身に付けさせるための指導の工夫

一年生の特別活動における、「主体的・対話的で深い学び」を実現した姿を「話し合い活動での意見を活発に話す姿」と考えた。そこで児童が「主体的・対話的で深い学び」を実現するために必要な手立てとして以下を実践した。

#### ○主体的な学びのための基礎学力の定着

1組では、主体的な学びにつなげるために、箸や食器などの実物を用意した。実際に配置したり操作したりすることでマナーのよさなどに気付きやすくした。その結果、実際の給食の時間にどのように箸や食器を扱えばよいか意識して使うことができた。

2組では、主体的な学びにつなげるために、実際に買い物活動を行った。体験をすることで、自分の考えを持ちやすくする手立てとした。その結果、お買い物のマナーについて様々な意見をもつことができた。

3組では、主体的な学びにつなげるために、低学年では話し合い活動の基礎的な力の定着を図ることと考えた。そのためにも、話し合い活動の仕方の定着を図ることができるようにワークシートを用意した。ワークシートを用意することで、次にどのように話し合い活動を進めればよいか分かったと考えた。また、これらの活動を通して、子ども自らが進んで学習に取り組めるようにした。話し合いの流れを全員に配付することで、その結果、次に何を話すべきかが分かり話し合いの内容が理解しやすくなった。

### 視点2 「子どもの探求的な学び」を実現するための授業改善

#### ○様々な立場での経験

1組の実践では、食事の時に相手を不快にさせないためのマナーを身に付けるために、マナーを守っていない人がいたら周りがどう感じるか話し合うことで、マナーの必要性を学んだ。その結果、給食の時間には自分の目標をもって食事のマナーを守ろうとする姿が見られた。しかし、よいマナーと比べるための悪いマナーの例を具体的に挙げたほうが子どもたちもより理解しやすかったのではないかと考えた。

2組の実践では、店側の役を経験することで、お客さんにされてうれしかったことや、反対に困ったことを経験することで、買い物のマナーを考える手助けにしていきたい。その結果、店側が困ることはマナー違反になることを感じ取ることができた。しかし、店側の立場は、身近なものではなく、お買い物のマナーにつなげにくい児童もいた。

3組の実践では、友達の見解と自分の見解を比べて話し合う活動を通して、自分の見解だけを伝えようとせず、周りの人の見解も考える活動にしていきたい。その結果、意見をもつことが苦手としている児童も、友達の見解を聞くことで自分の見解を考える手立てにつながった。しかし、友達の見解を出す場面では、手を挙げて発言する児童に偏りが見られ、発言できない児童もいたため、より多くの友達の見解と比べることはできなかった。

## ○授業の内容に合わせた実物やギガタブ、ワークシートの活用

1組の実践では、給食のときに使う食器を使うことで、実際の給食のときのイメージをつかめるようにした。

2組の実践では、買い物活動で実物をやり取りすることは難しい。そこで、ギガタブを活用することで、買い物活動をスムーズに行うことができるようにした。その結果、お金を払って商品をもたらす活動を、ギガタブ上ではあるが実際に体験することができた。またギガタブを活用することで、商品のカードなどを作成する時間を短縮することができ、本時を行うまでの準備の時間を減らすことができ、児童の活動する時間を増やすことができた。しかし、本時ではおきなかったが、ギガタブを多く使うため接続ができないなどのトラブルが起こる可能性が考えられる。そのトラブルに、対応しなければいけないのがギガタブを多く使うリスクになると考えられる。

3組の実践では、実際にワークシートに書く活動を行うことにより、児童の考えが深まり発表がしやすくなるようにした。その結果、手元に自分の意見があることで不安を無くし、発表することができた。しかし、書く活動を取り入れると話し合いの時間を少なくしてしまうので時間配分には注意が必要だと感じた。